

2021.03

深遊 探訪

しんゆう

たんぼう

この国は広くはない。
でも、この国は広い。そして深い。

四季、二十四節気をまたぐ、
多彩で気まぐれな自然の気質。

そこに、その土地土地に生きる人々の
表情や知恵や文化が滔々と息づいている。

この国は、分かり易くはない。
だからこそ「その奥、にある何か」への興味は尽きない。

時も季節も常に変化する。
ひとやものやことが次々と生まれ、
その役割を果たし、そして淡々と消えていく。

この国にはその連なりを
「うつろい」という概念で受け容れ、
千載一遇のこと、奥深きこととしてきた
類まれな感覚がある。

深く深く、その季節と場所を訪れ、
そこで出会う時どきのうつろいを、愛でる。

それこそが、この国、殊に東の日本を旅する
究極の醍醐味ではなからうかと思う。

私たちJR東日本は、
そう思う人の感性に真っ向から応え、
その人の人生の今までにない
体験と発見をもたらす旅をつくりたい。

「まだ、知らないことがあった、という幸福。」を、
実感する道程へ。

日本の奥の深さと出会い、
時どきのうつろいを愛でる。

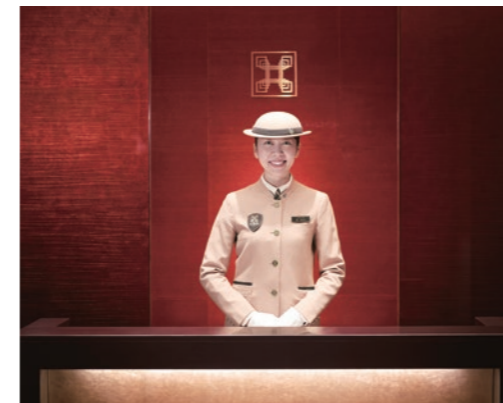
人生の今までにない体験と発見を、
鉄道の旅で。



かつてない感動に出会う。
いま、TRAIN SUITE 四季島
ならではの旅へ。

日本には、色鮮やかに移り変わる四季がある。
その中で育まれた文化や芸術、風習。
そして、長い歳月をかけて研ぎ澄ませてきた、人々の繊細な感性。
時間と空間の移り変わりを楽しむ
「TRAIN SUITE 四季島」での上質な体験は、
日本のクルーズトレインでしか出会うことのできない
この四季がもたらす恩恵を、享受し尽くすことに他ならない。

「今までの人生で、最高の体験だった」
乗る人の記憶に、いつまでも残り続ける旅をめざして。
黄金色に輝く列車が、静かに走り出す。



PROLOGUE SHIKI-SHIMA

旅の始まりも上質に、
「プロローグ四季島」

旅の起点となる上野駅に、これから「TRAIN SUITE 四季島」の旅にご出発いただくお客さま専用のラウンジ「プロローグ四季島」をご用意しております。洗練されたインテリアと、温かみのある照明デザイン。これから始まる感動体験を予感させる、深い落ち着きに満ちています。また、「TRAIN SUITE 四季島」へは目の前に設けた専用の「新たな旅立ちの13.5番線ホーム」からご乗車いただきます。





WELCOME TO TRAIN SUITE SHIKI-SHIMA

SHIKI-SHIMA SUITE ROOM
"MAISONETTE TYPE"

四季島スイート（メゾネットタイプ）

おもてなしを極めた、
豊かで上質な旅時間へ。

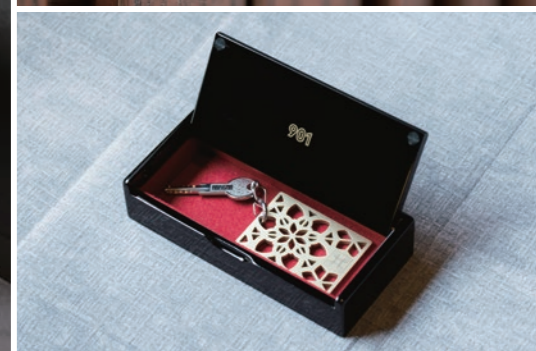


四季島スイート(メゾネットタイプ)

和室でくつろぎ、格別の眺めを楽しむ。
夜は階下で、深い落ち着きにつつまれる。

四季島スイートは、見晴らしのいい2階と、落ち着いた空間が安らぎをもたらす1階の、2つのフロアで構成されています。掘りごたつ風のテーブルがある和の空間で、刻々とうつろう風景を眺める体験は、まさにここでしか味わえない非日常。夜は特製の檜風呂で、リラックスした時間をお過ごしください。





DELUXE SUITE ROOM
"FLAT TYPE"

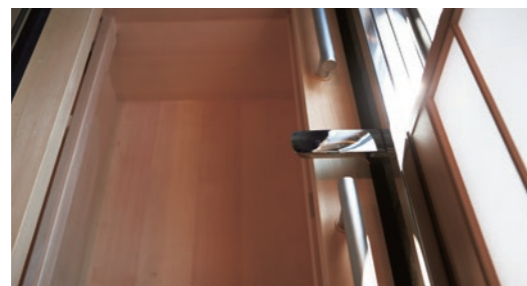
デラックススイート (フラットタイプ)

SUITE ROOM

スイート

和の意匠と素材が織りなすモダンな空間が、
風雅な時間を演出する。

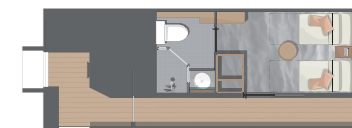
空間の贅沢さと上質さをテーマとしたデラックス
スイート。日本古来の柄や木を使いながら、和紙、
漆、石などさまざまな素材を組み合わせ、クラシカル
なだけではなく、モダンで洗練された雰囲気を出し
ています。「走るアート」とも呼べる空間が生み
出す、特別な旅情をお楽しみください。



デラックススイート(フラットタイプ)

日本の美意識を随所に盛り込みながら、
洗練さとのびやかさをまとった空間へ。

時間と空間の移り変わりを楽しむための舞台である
「TRAIN SUITE 四季島」の客室は、全室がスイート
ルーム以上。伝統的な和の美意識のエッセンスをとり
いれつつ、同時に未来へと向かう意志を感じさせる
デザインです。季節や時のうつろいを体感できる親密感に
満ちた空間で、忘れられない時間が過ぎていきます。



スイート



DINING しきしま



中村 勝宏
Katsuhiro Nakamura
総監修

岩崎 均
Hitoshi Iwasaki
監修

「TRAIN SUITE 四季島」でご提供するお食事は、日本人として初めてフランスでミシュラン一つ星を獲得し、2008年北海道洞爺湖サミットでは総料理長を務め、2016年にはフランス共和国農事功労章の最高位「コマンドゥール」を受章した、JR東日本グループ「日本ホテル株式会社」統括名誉総料理長・中村勝宏が総監修をいたします。また、「TRAIN SUITE 四季島」の初代総料理長を務めた岩崎均がその経験を活かし、監修としてサポートを行います。



佐藤 滋
Shigeru Sato
総料理長

総料理長には、歴史ある「東京ステーションホテル」副総料理長を務め、2017年に世界の料理人がフランスで腕を競う「第67回プロスペール・モンタニエ国際料理コンクール」で準優勝を果たした佐藤滋が就任し、車内でその腕を振ります。

旬の素材をあじわう、
その土地だけの出会い。



東日本各地の旬の滋味をとりいれた、
心づくしの料理がテーブルを彩る。

その土地ならではの料理や食材との出会いは、旅の感動をより深めてくれるもの。「TRAIN SUITE 四季島」では、行く先々で、時には地元の料理人が車内に乗り込み、こだわりの料理を提供するなど、3名のシェフと地域を代表する料理人の力を結集し、地域とのつながりや特別感を随所に演出した料理をお届けいたします。



食事



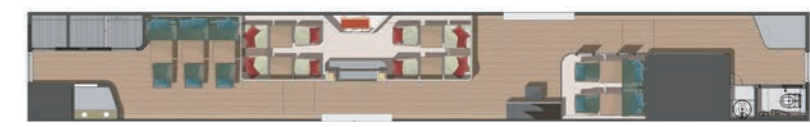
VIEW TERRACE きざし・いぶき / LOUNGE こもれび

展望車 / ラウンジ

流れゆく自然の風景を、
臨場感たっぷりに楽しむ。

雄大な自然を背景に、
開放感と高揚感あふれる空間をデザイン。

未来へ進む意志を、光のかけらのような窓で表現した開放的な展望車。空に向かって枝を伸ばす樹木をイメージさせる、洗練されたラウンジ。車両ごとの快適さを象徴する内部形状が細部にわたるインテリアにも表され、旅の高揚感や非日常の時間をいっそう盛り上げます。





TRAIN CREW

「TRAIN SUITE 四季島」の
おもてなしを体現する、
唯一無二の存在。

「TRAIN SUITE 四季島」の上質な空間の中で、
安らぎを感じながらおくつろぎいただくために。

ダイニングでの料理のサービス、ベッドメイキングなどのお部屋の
設え、さらには、立ち寄り先での観光アテンドまで承るのが
トレインクルーです。旅の始まりから終わりまで、お客さま
お一人おひとりの気持ちに寄り添った、オーダーメイドのサー
ビスをご提供します。高級ホテルにもひけをとらない、洗練
されたホスピタリティをご堪能ください。

トレインクルー

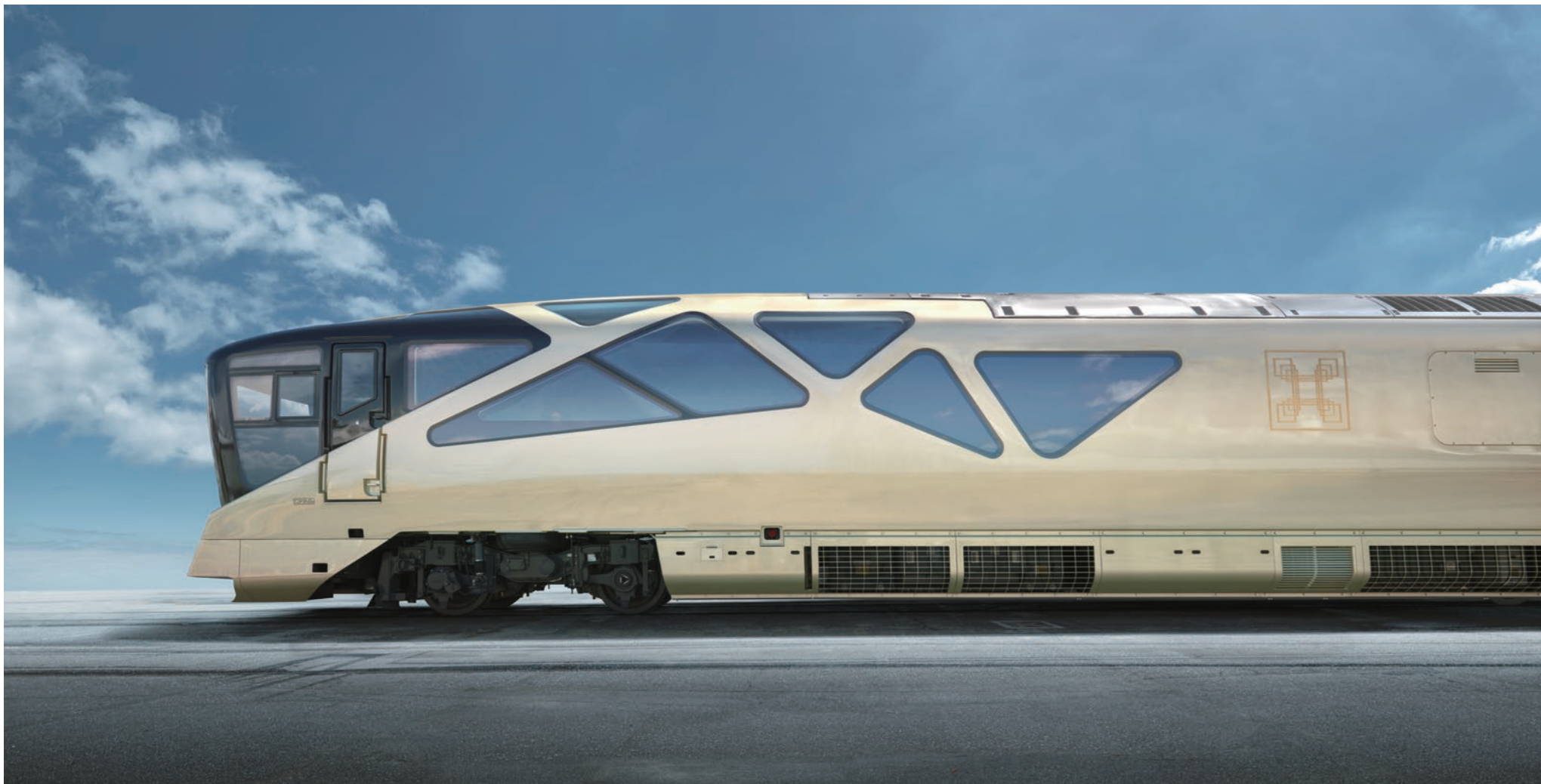


滝沢直己

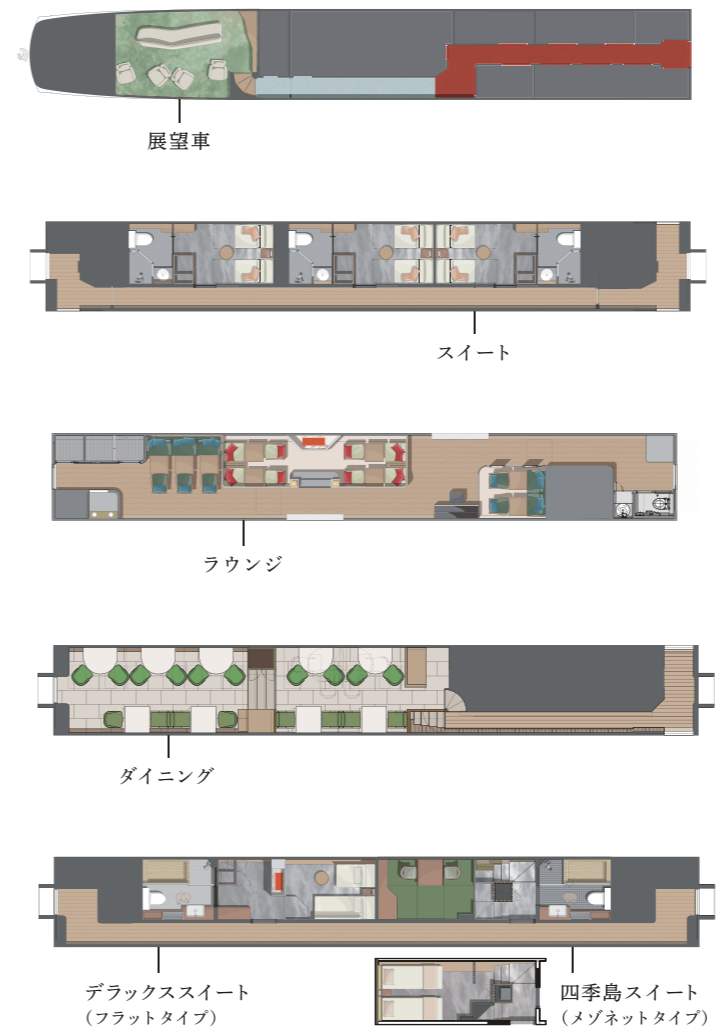
Naoki Takizawa

ユニフォームデザイン / NAOKI TAKIZAWA DESIGN INC. 代表

1960年東京生まれ。ファッションデザイナー。「ISSEY MIYAKE」のクリエイティブディ
レクター（メンズ1993-2000年、レディース2000-2007年）を経て、2007年に独立。
2010年から上皇后陛下の衣装デザインを担当。2011年よりユニクロのデザインディ
レクターに就任し、2014年からはスペシャルプロジェクトのデザインディレクターと
して活動している。2007年フランス芸術文化シュバリエ勲章受章。2009年東京大学
総合研究博物館 / インターメディアテク寄附研究部門特任教授に就任（～2013年）。



車両デザイン



EXTERIOR DESIGN



奥山 清行

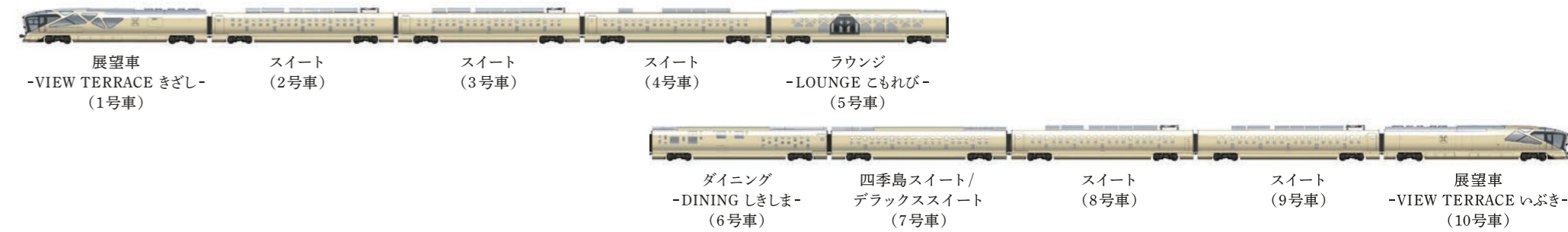
Kiyoyuki Ken Okuyama

デザインプロデュースおよび車両デザイン / KEN OKUYAMA DESIGN 代表

1959年山形市生まれ。ゼネラルモーターズ社(米) チーフデザイナー、ボルシェ社(独) シニアデザイナー、ピニンファリーナ社(伊) デザインディレクターなどを経て、2007年 KEN OKUYAMA DESIGN を設立。山形・東京・ロサンゼルスを拠点に、企業コンサルティングのほか、自身のブランドで自動車・インテリアプロダクト・眼鏡の開発から販売までを行う。著作多数。講演も行う。

いくつもの窓形状で構成されたユニークな外観が、この旅のさまざまな体験を予感させる。

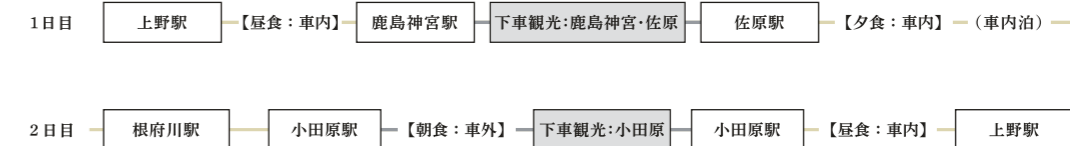
シャンパンゴールドの外装に、4面ガラス張りの先頭車両。この旅でしか味わえないエクスペリエンスを盛り込みながら開発された特注車両です。「美しい日本」、「豊かな時間と空間」、そして「日本の文化」を楽しむこの列車は、さりげなく深い知の感動を与える舞台として、世界最高クラスのクルーズトレインとなります。



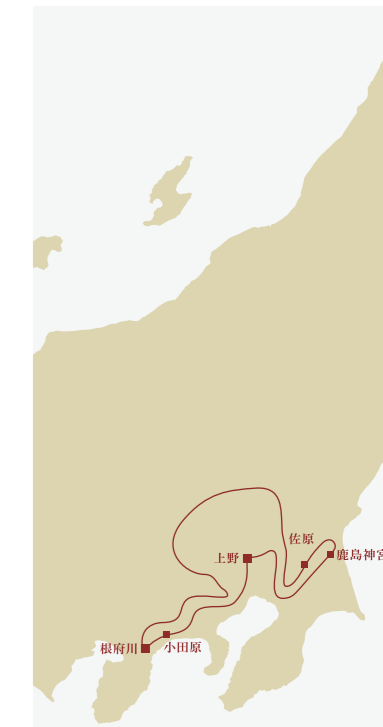


1泊2日コース

東国(とうごく)の冬の光を受けて、
聖なる社の森から太平洋をめぐる旅。

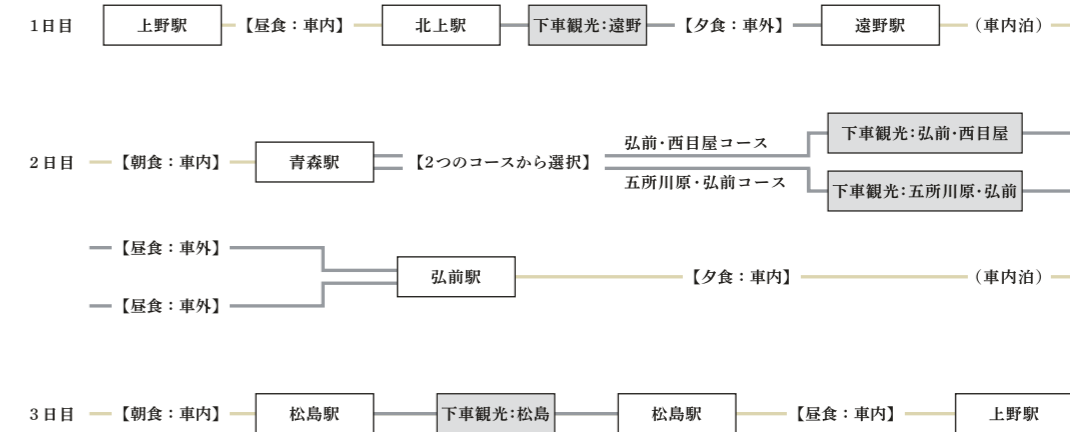


ホーム・駅舎からの日の出観賞
*天候によりご覧いただけない場合がございます。

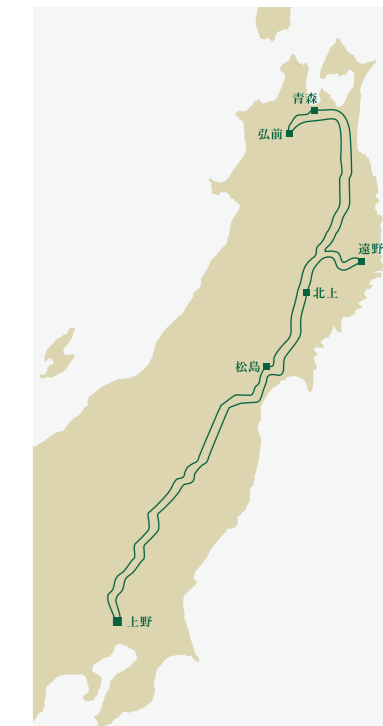


2泊3日コース

東北の長い冬に息づいてきた、手仕事の
ぬくもりと幻想的な民話の世界への旅。



— TRAIN SUITE 四季島
— 列車、バス等



壮大なる歴史と自然

鹿島神宮

[1泊2日 1日目]

日本建国・武道の神様である「武甕槌大神(たけみかづちのおおかみ)」を御祭神とする、神武天皇元年(紀元前660年)創建の由緒ある神社。現在の社殿は徳川二代将軍の秀忠により、また奥宮は徳川家康により奉納されたもので、いずれも重要文化財に指定される。東京ドーム15個分に及ぶ境内地には、鬱蒼とした巨木が荘厳な雰囲気醸し出す奥参道や、約1300年の樹齢を数える御神木など、その歴史と由緒を感じさせる多くの見所が点在する。



二宮尊徳が残した日本の心

報徳二宮神社

[1泊2日 2日目]

1894年、二宮尊徳の教えを慕う6カ国(伊豆、三河、遠江、駿河、甲斐、相模)の報徳社の総意により、小田原が生誕地である二宮尊徳を御祭神として、小田原城二の丸小峰曲輪の一角に創建された神社。拝殿礎石には、天保の大飢饉の際に二宮尊徳が11万石の領内に住む民を救うために開いた、小田原城内の米蔵の礎石が使われている。同敷地内の「報徳会館」では洗練された大人の雰囲気が漂う中で、朝食をいただくことができる。



400余年を生きる町

佐原

[1泊2日 1日目]

かつて利根川水運で「江戸優り(えどまさり)」と言われる程に栄えた佐原の町。人々は江戸の文化を取り入れ、さらにそれを独自の文化に昇華。その面影を残す町並みが、小野川沿岸や香取街道に今も息づいている。1996年に関東で初めて「重要伝統的建造物群保存地区」に選ばれる。昔からの家業を継ぎ今も続いている商家が多く、「生きている町並み」として評される。また伊能忠敬が30年余りを過ごした母屋と店舗が、「伊能忠敬旧宅(国指定史跡)」として現存する。

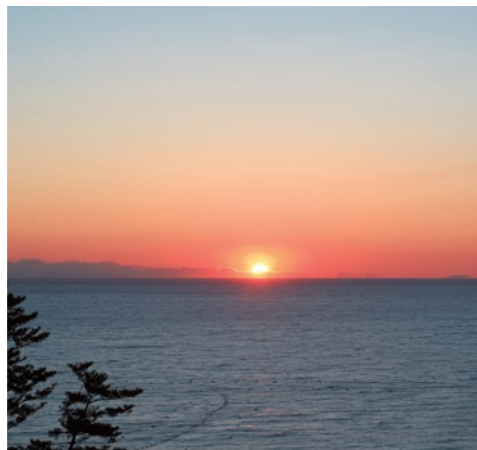


日出ずる処の駅と海

根府川駅(ねぶかわえき)の日の出

[1泊2日 2日目]

相模湾を見下ろす丘の上にある、東海道本線・根府川駅。駅前やホームから見る日の出の眺望は、まさに絶景。冬は太陽が駅の正面あたりに昇り、時代を感じさせる駅舎を鮮やかに照らす。秒単位で空の色が移り変わる様は、誰もが目を奪われること間違いなし。刻々と色を変える空と海、やがて水平線の彼方から昇る朝日を眺める癒しの時間を楽しみたい。



アートの起源に還る

小田原文化財団 江之浦測候所

(えのうらそっこうじょ)

[1泊2日 2日目]

「アート」とは、各時代における「人間の意識の最先端」を表すもの。その新たな未来を拓く糸口として、世界的な現代美術作家・杉本博司により建てられた美術展示施設。ギャラリー棟、石舞台、光学硝子舞台、茶室、庭園などから構成される。建造物は各時代の日本の建築様式、及び工法の特徴を取り入れて再現され、日本建築史を通観するものとして機能する。それは現在では継承が困難になりつつある伝統工法を、将来に伝える使命も果たしている。



昔話の世界に誘われ

とおの物語の館

[2泊3日 1日目]

遠野に語り継がれる昔話の世界を鑑賞したり触れたりして体感できる「昔話蔵」や、語り部による昔話や郷土芸能である神楽の観賞などが楽しめる劇場空間「遠野座」がある。その他にも、「遠野物語」の著者・柳田國男の生涯と功績を紹介する展示館などがあり、遠野の歴史と魅力に存分に触れることができる。



太宰作品の頁を巡る

太宰治記念館「斜陽館」

[2泊3日 2日目 五所川原・弘前コース]

太宰治が生まれる2年前の1907年、父・津島源右衛門により建てられた豪邸。和洋折衷・入母屋造りの建物は、米蔵に至るまで「青森ヒバ」の木材が使用されており、どっしりとした重厚感が特徴となっている。国の重要文化財建造物に指定され、明治期の木造建築物としても貴重な一軒。蔵を利用した資料展示室には、太宰が生前着用していた二重廻しのマントや執筆用具、書簡などの他、初版本や外国語の翻訳本も展示されている。



伝統の継承と創造を

弘前れんが倉庫美術館

[2泊3日 2日目 五所川原・弘前コース]

明治・大正期に建設され、近代産業遺産として弘前の風景を形作ってきた「吉野町煉瓦倉庫」を改修し、2020年に美術館として再生。展示作品は勿論のこと、建築家の田根剛が「記憶の継承」をコンセプトに手がけた美術館そのものも、鑑賞すべき作品のひとつである。幾何学模様デザインの温もりある手芸が特徴的な「津軽こぎん刺し」や大鰐町で木材工芸品を生産する「わにもっこ」の木工品づくりなどの手作り体験も楽しめる。



青森が誇る美技

BUNACO 西目屋工場

[2泊3日 2日目 弘前・西目屋コース]

世界最大規模のブナ原生林が分布する世界遺産「白神山地」をはじめ、広大なブナ林を有する青森県。「BUNACO(ブナコ)」はそのブナの木から生まれた工芸品で、世界の高級ホテルや有名セレクトショップで採用されるなど、国内外で高い評価を獲得し注目を集めている。地元の小学校旧校舎を活用した西目屋工場では、熟練の職人によるBUNACO作りの技術が間近で見られる工場見学や、世界にひとつだけのBUNACOの手作り体験が楽しめる。



りんごの聖地を味わう

河東地区りんご施設

[2泊3日 2日目 弘前・西目屋コース]

1995年に設立された、日本一の大型りんごセンター。3万4500㎡の広大な敷地で、1日128t(6400箱)の選果、箱詰め、出荷を可能にする。選果では、糖度・熟度・硬度・蜜の有無・内部の障害などを瞬時に判別する高性能光センサーにより、「つがる弘前りんご」のさらなる高品質化をめざす。施設内の見学も可能で、甘酸っぱい香りが漂うなか、1個ずつ真っ赤なりんごが流れていく様子を間近に見ることができる。



伊達政宗の粋が集いし寺

瑞巖寺

[2泊3日 3日目]

正式名称は「松島青龍山瑞巖円福禪寺」。開創は828年の平安初期にまで遡る、奥州随一の古寺。現在の建物は、1609年に伊達政宗が名工130人を集め、5年の歳月をかけて完成させたもの。桃山時代の真髓である荘厳な風格を有し、唐戸や欄間、襖、床の間などの豪華な絵画は、日本の自然美を代表する「人工美の極致」と評される。現存する本堂・御成玄関・庫裡・回廊は国宝に、御成門・中門・太鼓塀は国の重要文化財に指定される。





ご縁を大切に、
長いお付き合いを。

「TRAIN SUITE 四季島」の旅を通して生まれたお客さま同士のご縁、お客さまとクルーとのご縁をこれからも大切に育んでいければと思っております。皆さまとまたお会いできる日を心よりお待ちしております。

*掲載の写真・イラストはすべてイメージです。
*このパンフレットの情報は、2021年3月現在のものです。

